

# 岩手県感染症月報

平成30年6月

岩手県感染症情報センター

## 平成30年6月の概要

### ○性感染症

- ・男性の性器クラミジア感染症が増加し、淋菌感染症が減少しました。
- ・女性の尖圭コンジローマが減少しました。
- ・県内の各保健所において、性器クラミジア感染症病原体検査を無料で実施しています。希望される方は保健所にお問い合わせください。

### ○薬剤耐性菌感染症

- ・ペニシリン耐性肺炎球菌感染症が減少しました。

## 性感染症・薬剤耐性菌感染症（過去5ヶ月間の動き）

※薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から5類感染症の全数報告となりました。（定点当たり患者数）

疾病名		地域	月					流行傾向
			2	3	4	5	6	
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	岩手県	1.8	1.33	1.2	2.13	2.47	↗
		全国	1.87	2.08	1.88	2.24	2.24	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.33	0.27	0.07	0.2	0.13	→
		全国	0.7	0.77	0.79	0.81	0.79	
	尖圭コンジローマ	岩手県	0.27	0.47	0.2	0.67	0.4	↘
全国		0.38	0.45	0.47	0.52	0.53		
淋菌感染症	岩手県	0.2	0.4	0.27	0.33	0.13	→	
	全国	0.55	0.67	0.61	0.72	0.65		
薬 剤 耐 性 菌 感 染 症	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	岩手県	2.11	2.26	2.42	2	2.16	→
		全国	2.77	2.93	2.65	2.85	2.72	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	岩手県	0.32	0.32	0.11	0.16	0.05	↘
		全国	0.33	0.32	0.37	0.36	0.31	
薬剤耐性緑膿菌感染症	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.02	0.02	0.01		

### （男性）

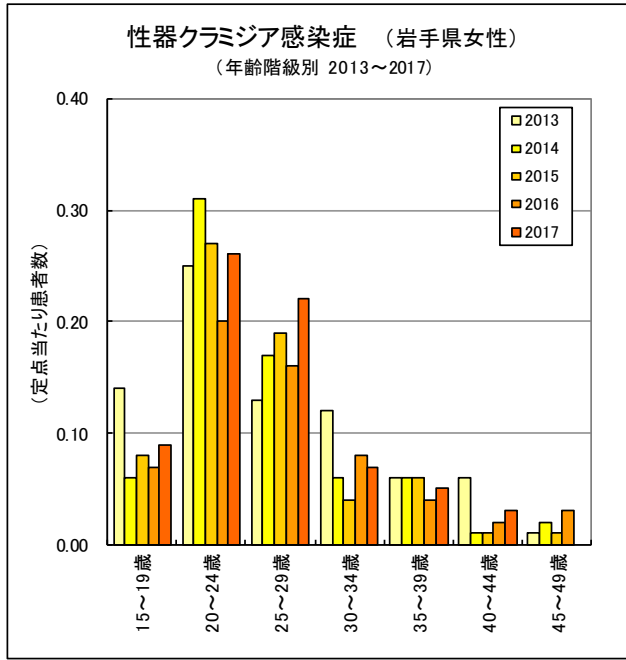
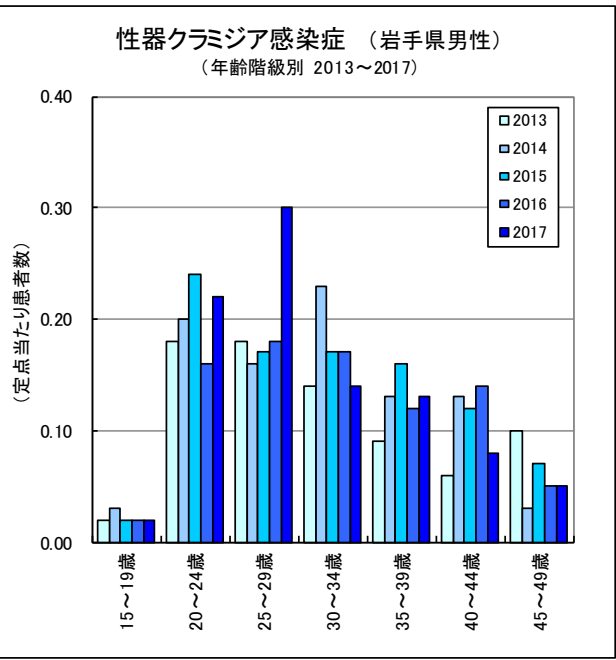
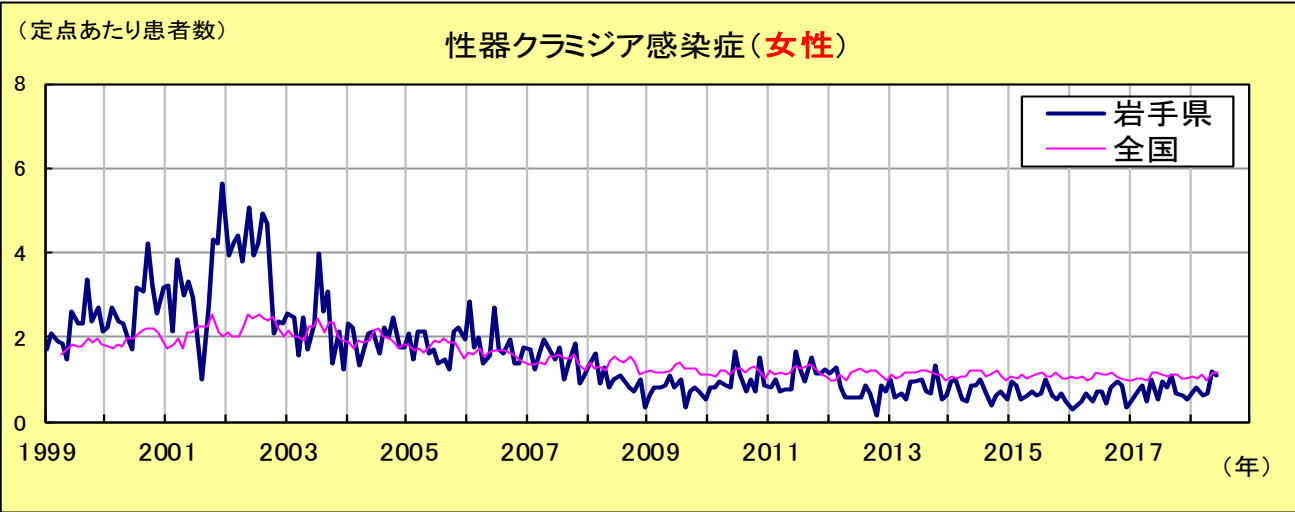
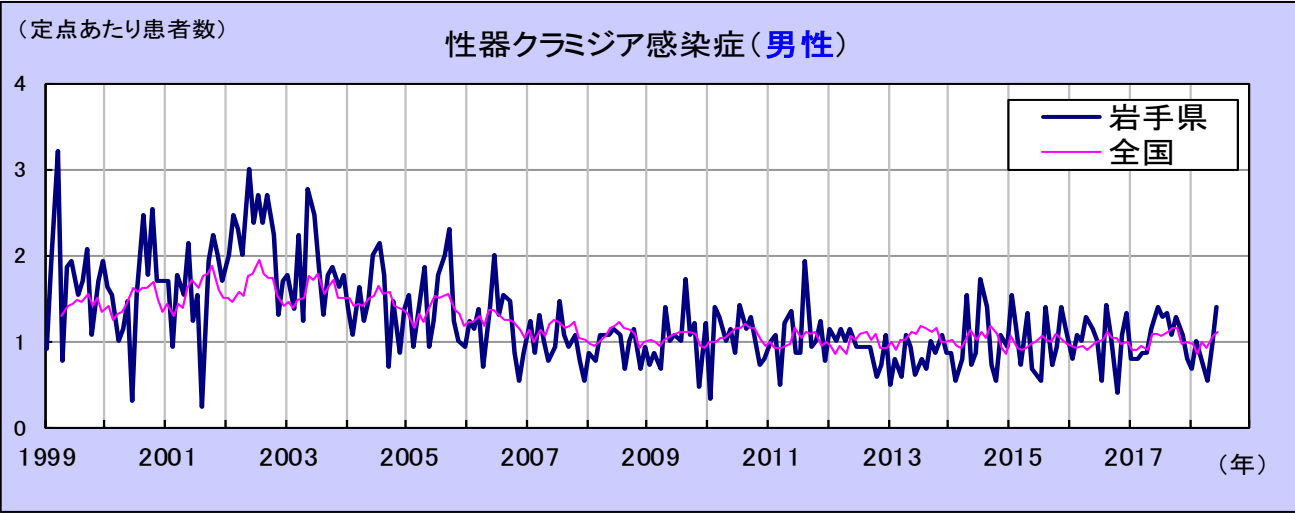
疾病名		地域	月					流行傾向
			2	3	4	5	6	
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	岩手県	1	0.73	0.53	0.93	1.4	↗
		全国	0.86	0.98	0.93	1.06	1.11	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.2	0.13	0	0	0	→
		全国	0.26	0.31	0.3	0.32	0.33	
	尖圭コンジローマ	岩手県	0.13	0.27	0.2	0.53	0.33	→
全国		0.22	0.29	0.29	0.35	0.36		
淋菌感染症	岩手県	0.13	0.2	0.13	0.27	0.13	↘	
	全国	0.45	0.51	0.49	0.56	0.5		

### （女性）

疾病名		地域	月					流行傾向
			2	3	4	5	6	
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	岩手県	0.8	0.6	0.67	1.2	1.07	→
		全国	1.01	1.09	0.95	1.18	1.14	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.13	0.13	0.07	0.2	0.13	→
		全国	0.44	0.46	0.49	0.49	0.46	
	尖圭コンジローマ	岩手県	0.13	0.2	0	0.13	0.07	↘
全国		0.16	0.17	0.18	0.17	0.18		
淋菌感染症	岩手県	0.07	0.2	0.13	0.07	0	→	
	全国	0.1	0.16	0.12	0.16	0.15		

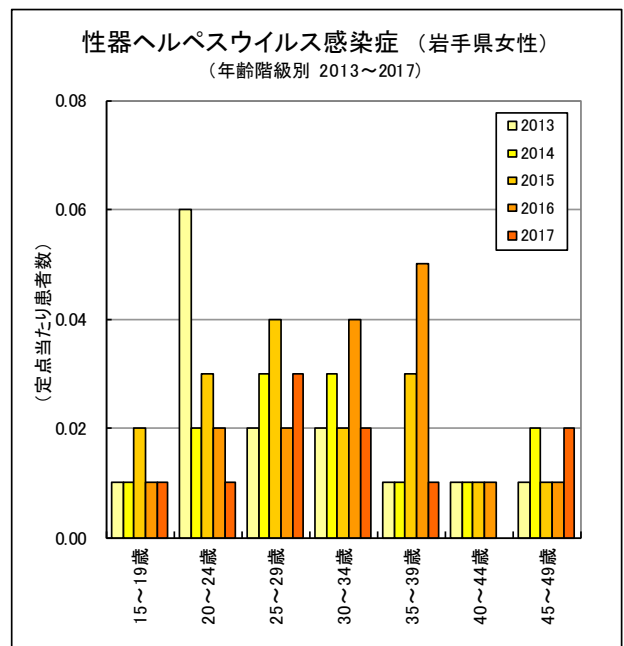
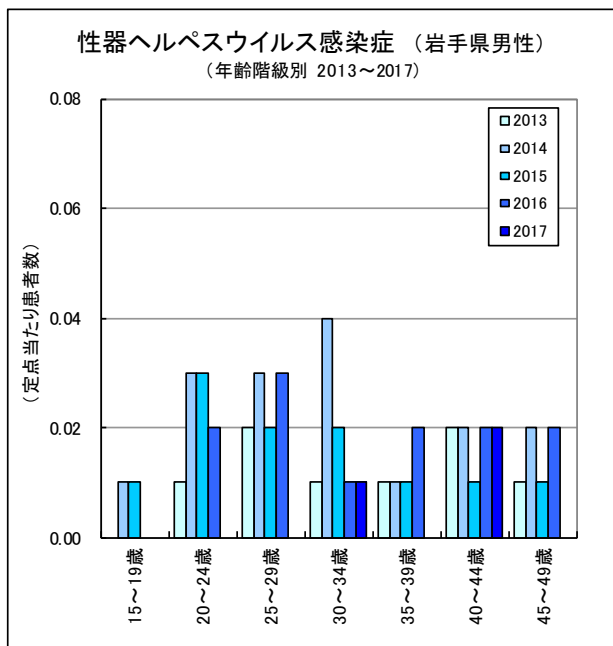
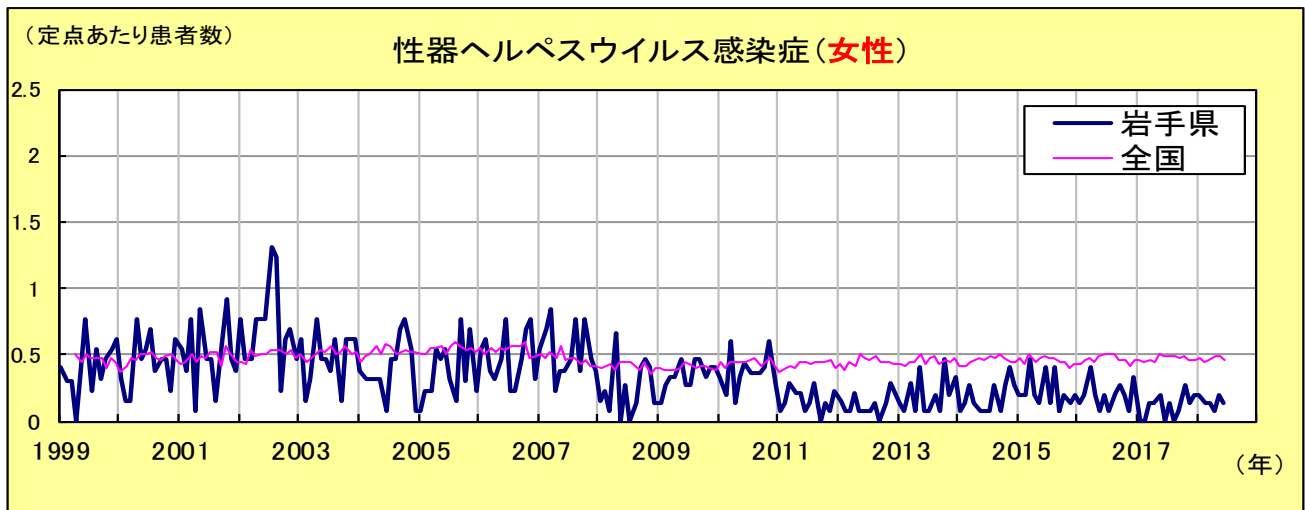
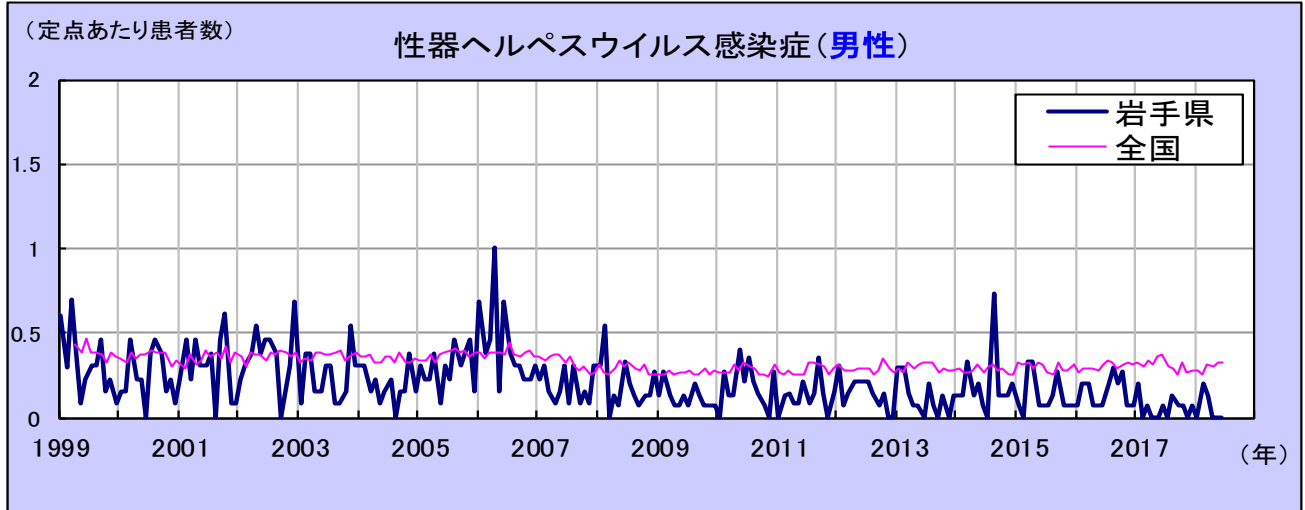
性器クラミジア感染症

男性では20～39歳に、女性では20～29歳に多く報告されています。男女ともは2002年をピークに減少し2009年から横ばいの状況が続いております。2017年は、男女とも20～29歳の報告数が増加しました。



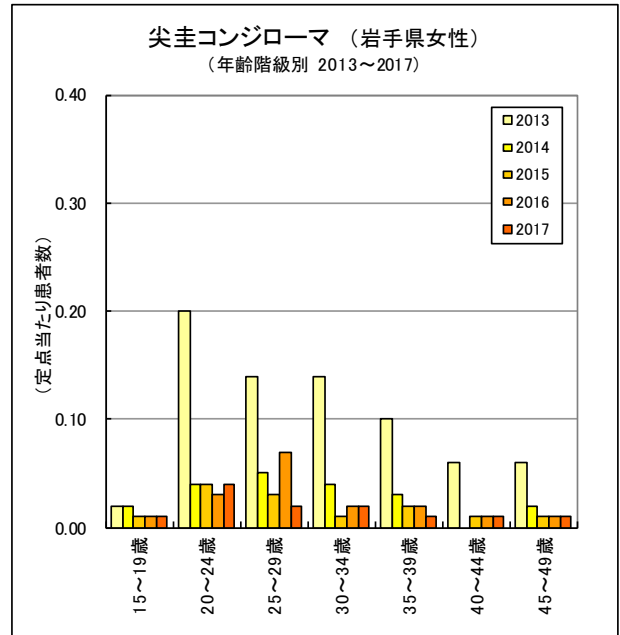
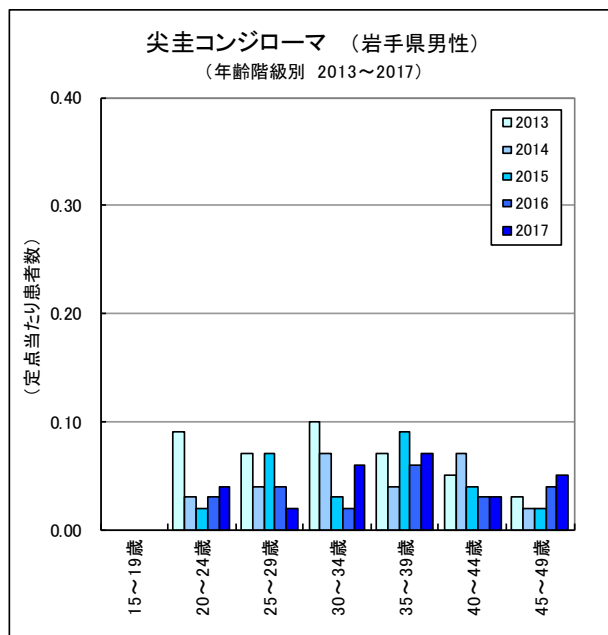
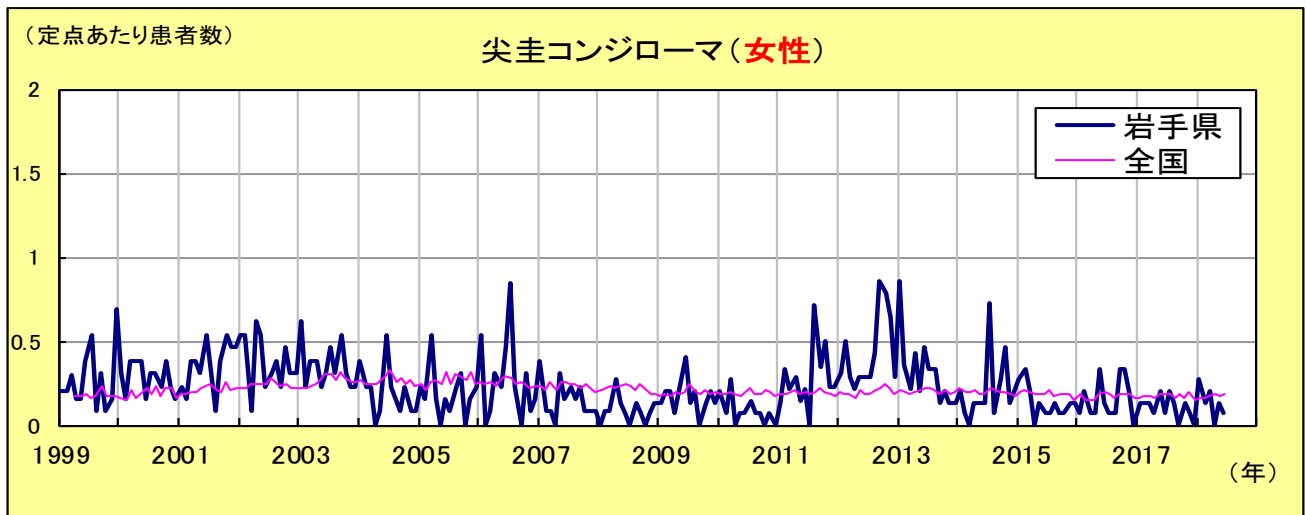
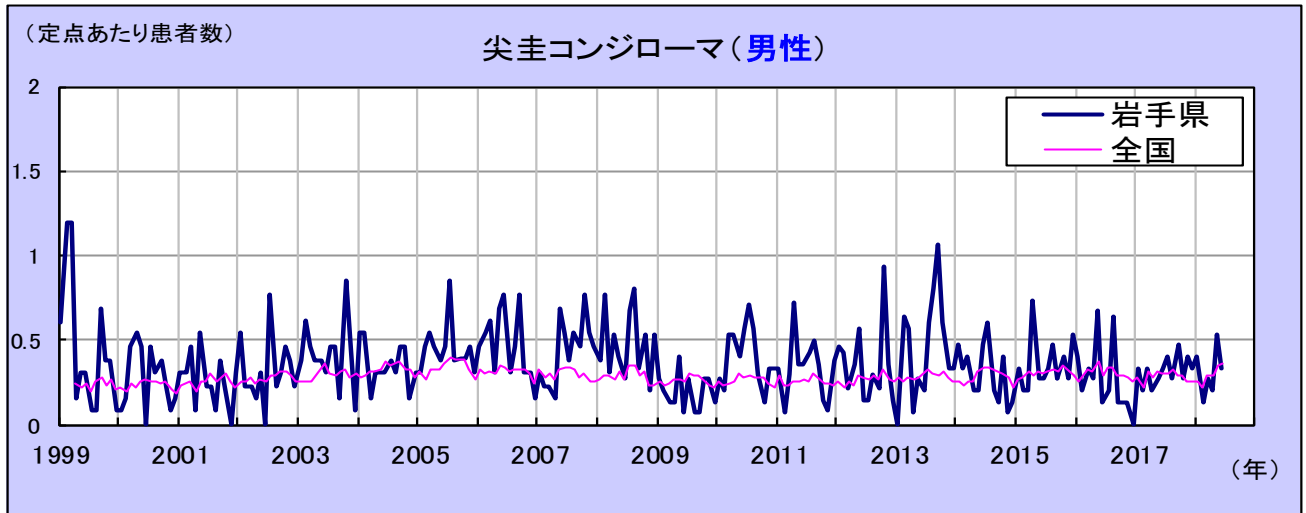
性器ヘルペスウイルス感染症

男女とも、年齢層別では、いろいろな年齢層から報告がありました。また、男女とも、減少傾向にあります。女性は、2013年に20～24歳が、2016年には35～39歳の報告数が多くなりましたが、次の年には減少しました。2017年は、男性の35～39歳、男女の25～29歳、45～49歳が増加しました。



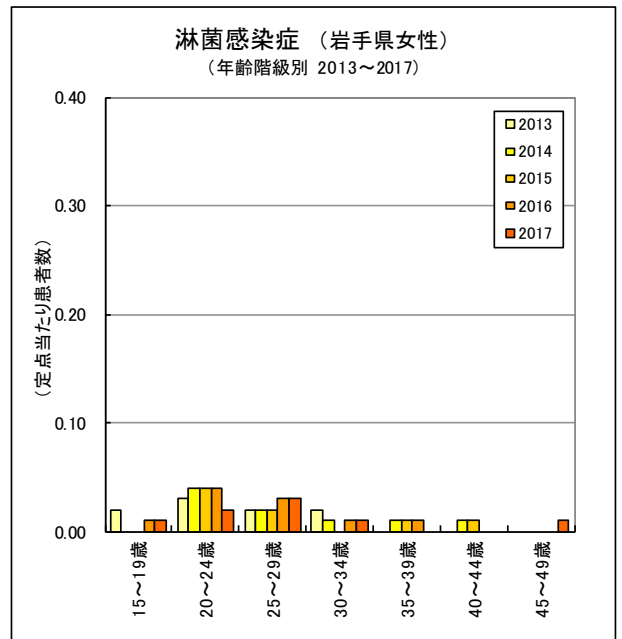
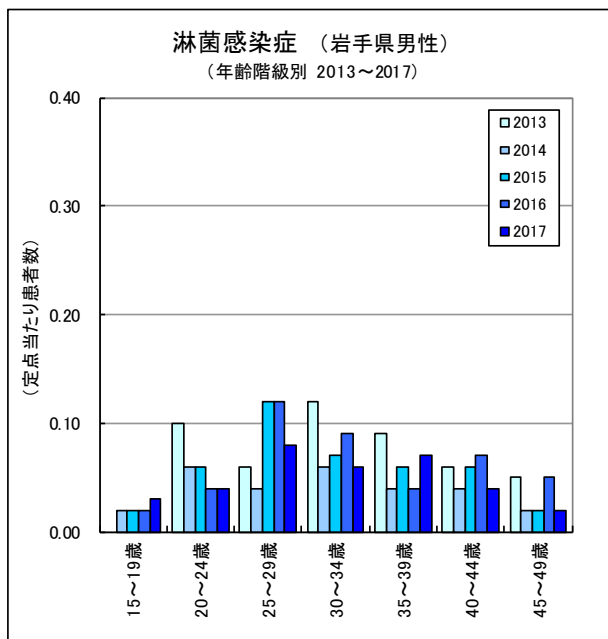
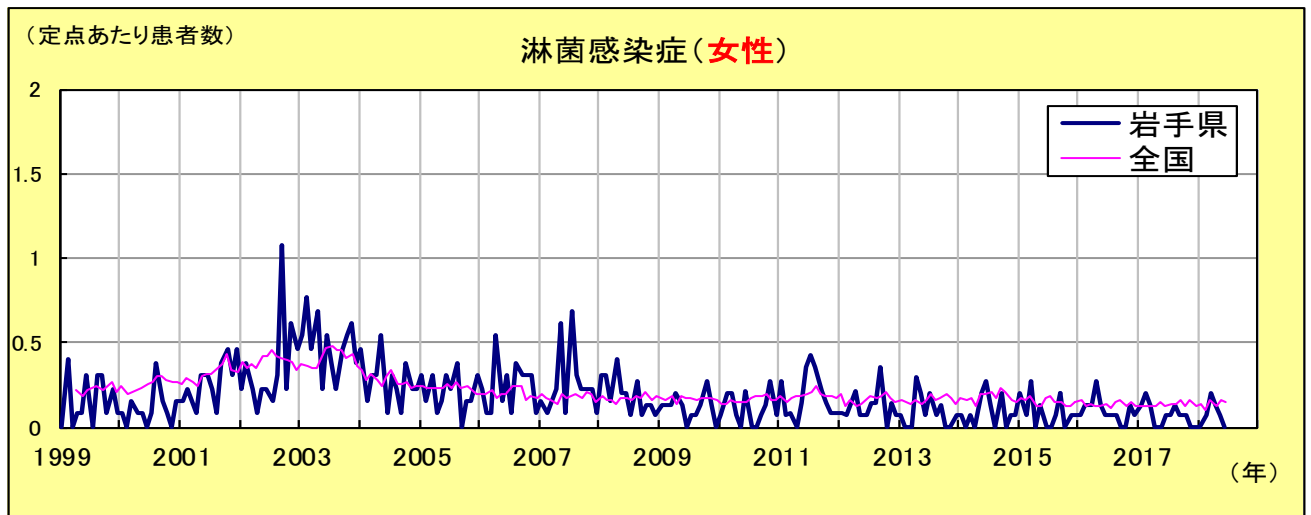
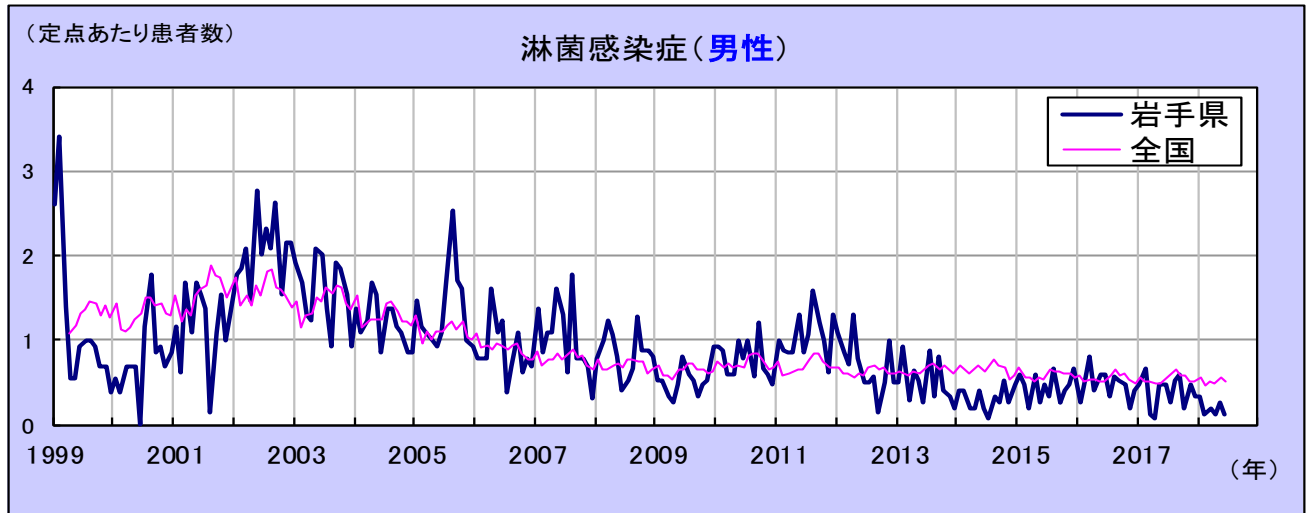
尖圭コンジローマ

2013年は、女性が男性より多く報告されておりましたが、2014年以降は女性の報告数が減少し、男女とも、減少傾向にあります。2017年は、男性の20～24歳、30～39歳、45～49歳が増加しました。

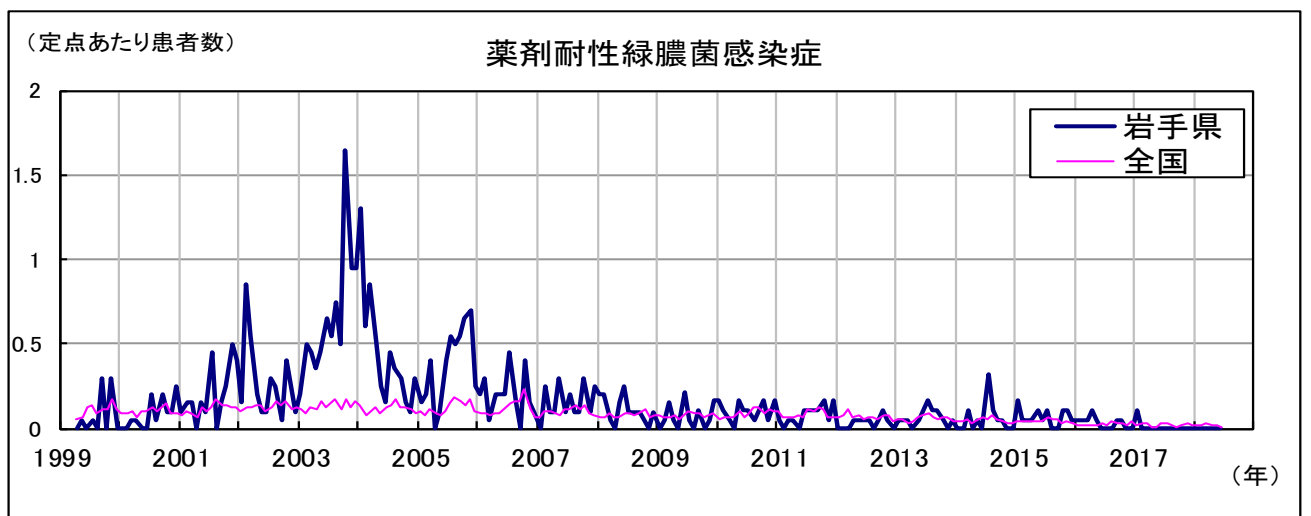
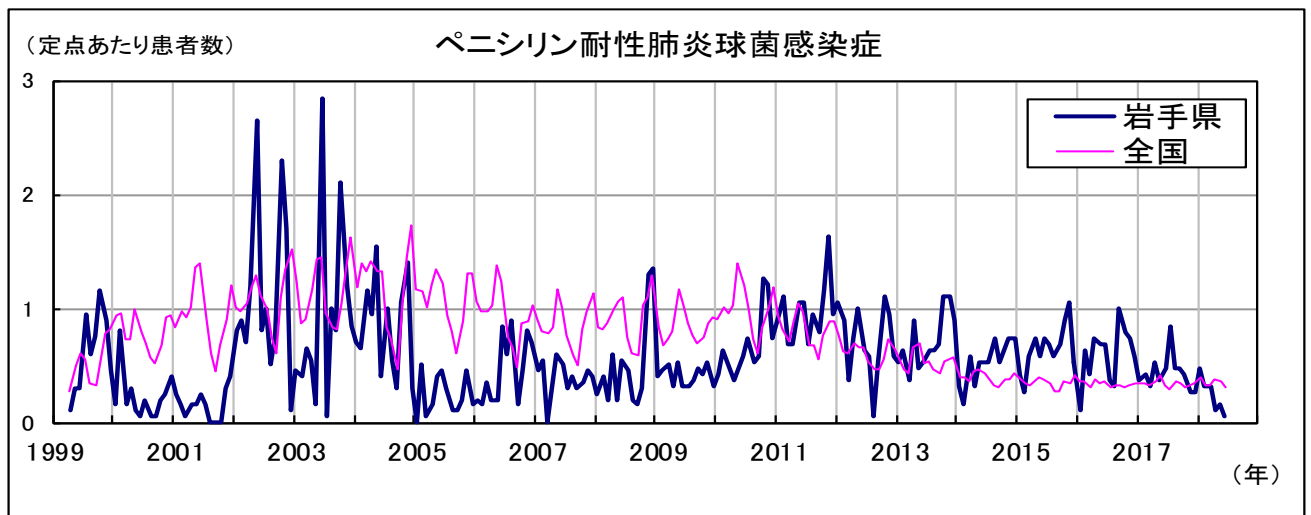
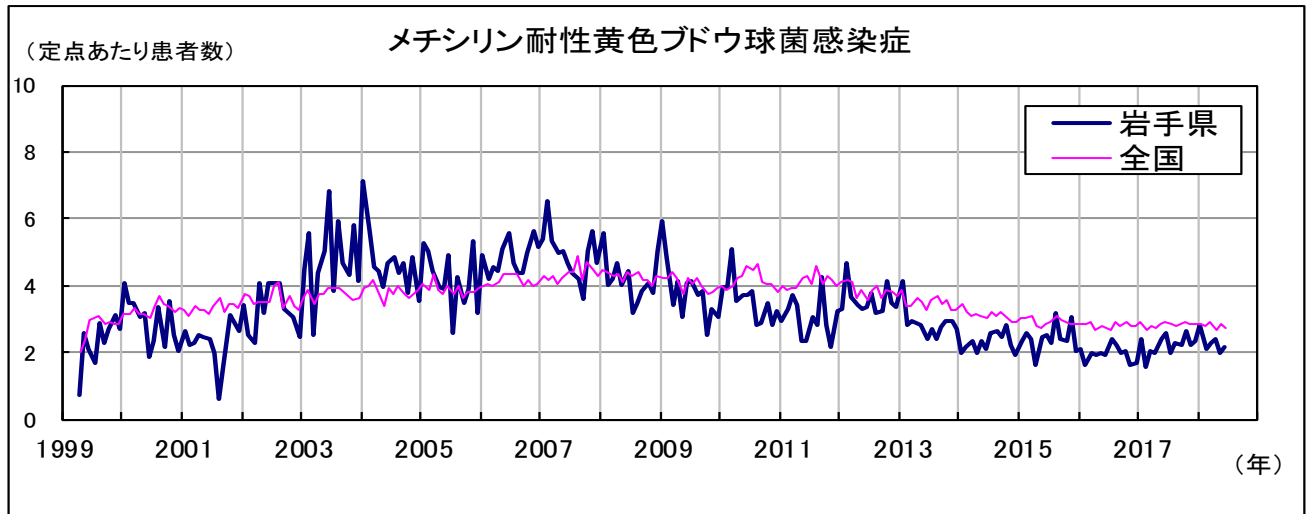


淋菌感染症

男性の報告数は全体的に女性より多く、特に25～34歳で多く報告されています。男女とも減少傾向にありますが、2017年は、男性の15～19歳、35～39歳の報告数が増加しました。



薬剤耐性菌感染症



病原体検出情報

平成30年2月から平成30年6月まで、県内の病原体定点医療機関等で採取した検体から岩手県環境保健研究センターで分離検出した病原体は下表のとおりです。

月別病原体検出状況

検査結果	2月	3月	4月	5月	6月	計
コクサッキーウイルスB群4型	-	-	-	1	-	1
エンテロウイルスA71型	-	-	-	1	-	1
パレコウイルス1型	-	-	-	2	-	2
パレコウイルス3型	-	-	-	-	2	2
パレコウイルス6型	-	-	-	1	-	1
ライノウイルス	1	7	8	4	4	24
インフルエンザAウイルス(H1N1(2009)亜型)	-	-	1	-	-	1
インフルエンザAウイルス(H3)	12	7	5	2	-	26
インフルエンザBウイルス(山形系統)	6	5	-	-	-	11
インフルエンザCウイルス	-	-	-	-	1	1
パラインフルエンザ2型	1	-	-	-	-	1
パラインフルエンザ3型	-	-	-	-	3	3
RSウイルス	-	1	1	2	1	5
ヒトメタニューモウイルス	1	-	2	-	2	5
ヒトコロナ	-	-	-	2	-	2
ムンプスウイルス	-	-	-	-	-	0
ロタウイルスA群	-	5	4	-	-	9
アストロウイルス	-	-	-	-	2	2
アストロウイルス	1	-	-	-	-	1
ノロウイルス遺伝子群II	-	1	4	2	1	8
ノロウイルス遺伝子群II.4	3	-	-	-	-	3
サポウイルス	-	-	2	-	-	2
アデノウイルス1型	-	-	1	5	4	10
アデノウイルス2型	1	-	-	-	-	1
アデノウイルス3型	-	-	-	-	1	1
アデノウイルス5型	-	1	-	2	-	3
単純ヘルペスウイルス	-	-	-	-	3	3
ヒトヘルペスウイルス6型	2	5	3	6	4	20
ヒトヘルペスウイルス7型	1	4	-	1	-	6
パルボウイルスB19	4	3	2	2	2	13
A群溶血性レンサ球菌	-	-	-	3	3	6
百日咳菌	-	-	-	-	1	1
	33	39	33	36	34	175

病原体検出情報 つづき

疾病別病原体検出状況

疾病名	検出病原体	検出数	
インフルエンザ	インフルエンザAウイルス(H1N1(2009)亜型)	1	
	インフルエンザAウイルス(H3)	24	
	インフルエンザBウイルス(山形系統)	10	
	パルボウイルスB19	1	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	3	
感染性胃腸炎	パレコウイルス6型	1	
	ロタウイルスA群	9	
	アストロウイルス	2	
	アストロウイルス1型	1	
	ノロウイルス遺伝子群II	8	
	ノロウイルス遺伝子群II.4	2	
	サポウイルス	2	
	アデノウイルス1型	2	
	手足口病	ライノウイルス	2
伝染性紅斑	ヒトヘルペス6型	3	
	ヒトヘルペス7型	5	
	パルボウイルスB19	9	
ヘルパンギーナ	単純ヘルペス1型	1	
流行性耳下腺炎	ライノウイルス	1	
無菌性髄膜炎	ヒトヘルペスウイルス6型	1	
百日咳	百日咳菌	1	
	ライノウイルス	1	
その他	コクサッキーウイルスB群4型	1	
	エンテロウイルスA71型	1	
	パレコウイルス1型	2	
	パレコウイルス3型	2	
	ライノウイルス	20	
	インフルエンザAウイルス(H3)	2	
	インフルエンザBウイルス(山形系統)	1	
	インフルエンザCウイルス	1	
	パラインフルエンザ2型	1	
	パラインフルエンザ3型	3	
	RSウイルス	5	
	ヒトコロナウイルス	2	
	ヒトメタニューモウイルス	5	
	ノロウイルス遺伝子群II.4	1	
	アデノウイルス1型	8	
	アデノウイルス2型	1	
	アデノウイルス3型	1	
	アデノウイルス5型	3	
	単純ヘルペスウイルス	2	
	ヒトヘルペスウイルス6型	16	
	ヒトヘルペスウイルス7型	1	
	パルボウイルスB19	3	
	A群溶血性レンサ球菌	3	
		計	175



病原体検出情報 サルモネラ属菌

平成18年から平成29年まで、県内の一部の臨床検査機関から提供された散発性胃腸炎患者から分離されたサルモネラ属菌を、岩手県環境保健研究センターで血清型別した結果は下表のとおりです。

表 県内で散発性胃腸炎患者から分離されたサルモネラ属菌

O群		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29												計	合計	
													1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
													4	S. Typhimurium	15	9	9	12	15	7	7	7	5	7			7
	O4:i-	4	1	1	1		2	12	12	15	13	5	2				2	1	4	3					12	78	
	S. Saintpaul	1	5	6	1		3	1	1	2	7	6							2						2	35	
	S. Agona	4	2	6	1	5				2	2	2					1								1	25	
	S. Schwarzengrund						6		3		3	5		1	1	1	2						1		6	23	
	S. Paratyphi B				2	1	2		1	1		1							1						1	9	
	S. Stanley	2			1														1						1	5	
	S. Schleissheim						2			1							2								2	5	
	S. Bredeney								1			4														5	5
	S. Kingston																									5	5
	S. Derby	2				1		1																		4	4
	S. Brandenburg	1																	1						1	2	
	S. Fyris								2																		2
	S. Heidelberg							1				1															2
	S. Chester									1		1															2
	S. Haifa		1																								1
	S. Reading					1																					1
7	S. Infantis	2	6	3	3	11	4	6	6	2	7	31	1			1		1	4	3	1	1	1	1	13	94	
	S. Rissen					12	3	6	5		2	1															29
	S. Thompson	3	3	1	3	5		5	1	2	1	1						1	1							2	27
	S. Braenderup	1	2				1	1	3	2	2	1															13
	S. Montevideo		1		1	3		4		1	1	1							1		1					2	14
	S. Virchow	2	3	1		1				1		1															9
	S. Bareilly	1			1	1				1	2									1						1	7
	S. Mbandaka		2			2												1	1							2	6
	S. Mikawasim					2					3														1	6	
	S. Singapore					4																					4
	S. Tennessee											4															4
	S. Livingstone					1		1	1																		3
	S. Othmarschen	1																									1
	S. Potsdam						1																				1
8	S. Litchfield	2				3	1	1		12																	19
	S. Newport	1		2		2	2		2	1	2	1											1			1	14
	S. Manhattan										1	2	1														5
	S. Hadar	2	1	1	1					3																	8
	S. Nagoya	1			1		1			1	2																6
	S. Bovismorbificans	1					1	2																			4
	S. Muenchen				1	1					1	1															4
	S. Chailey					1			1	2																	4
	S. Narashino		1			1	1																				3
	S. Blockley									2														1	1	3	
	S. Bardo	1	1																								2
	S. Istanbul	1									1																2
	S. Inchpark									1																	1
	S. Altona											1															1
9	S. Enteritidis	7	13	5	7	8	8	1	1	2	4	1					5		1				1	7	64		
	S. Javiana	1																									1
	S. Seremban											1															1
3,10	S. Weltevreden		1	1								1											6	6	9		
	S. Anatum	1								1	4	1															7
	S. Give										1																1
13,19	S. Senftenberg								1	2																	3
	S. Krefeld								1																		1
18	S. Cerro				1			1																			2
21	S. Minnesota											1															1
35	S. Alachua											1															1
	型別不能(その他)	1	1	2		1		4		5				1			2									6	17
	亜種 IIIa					1	1																				2
	合計	58	53	38	38	82	46	56	51	70	70	80	4	3	1	2	4	15	5	13	8	1	3	9	71	710	

結核発生動向

結核の発生動向の詳細は、岩手県感染症情報センターのホームページをご覧ください。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/index.html>

無料です!!

岩手の感染症情報をメールで毎週お届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」

を配信しています

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症月報 平成30年6月

平成31年3月25日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター  
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

URL：http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/